

# クロスカントリーポイントルール 2008/2009

## 目 次

- 1 . 一般的な情報
- 2 . 競 技
- 3 . 競技者
- 4 . 有効期間
- 5 . 計算プロセス
- 6 . F I Sポイント・リスト
- 7 . 年会費（更新）
- 8 . 組織委員会・T Dへの指示

## 1 . 一般的な情報

### 1・1 FISポイント規則

FISポイント・ルールブックはICRの一部一体をなすものである。

### 1・2 F値

F 値	競技形態
800	インターバル・スタート競技、
1200	スプリントと休憩有のパシュート競技、
1400	マス・スタートと休憩無しのパシュート競技、

### 1・3 レース・ポイント計算

計算式と計算例 1a と 1b を参照のこと。

### 1・4 レース・ペナルティー

競技の重要性は参加選手の質により決定される。レース・ペナルティーの計算に当っては、これが要因となってくる。

競技会で獲得したレース・ポイントにレース・ペナルティーが足されものが、その競技会における FIS ポイントとして、各参加登録競技者に与えられる。

詳細は、5.3 条、5.4 条並びに図表 1 a / 1 b を参照のこと。

### 1・5 競技会参加エントリー

全ての国際大会への参加エントリーは、公式なエントリーフォーム（ICR 217 条）により行わなければならない。図 1 c 参照。

競技者の FIS コードナンバーは明記されていなければならない。これを怠るとエントリーは無効とみなされる。

### 1・6 リザルト・リスト上の FIS コード

TD は全てのリザルト・リストに FIS コードを含む全競技者が記載されていることを確認する責任がある。

有効な FIS コードのない競技者はスタートすることを許可されない。

FIS コードのないリストは受け取ることが出来ない。

## 2 . 競 技

### 2・1 条件

FIS ポイントの対象として評価されるためには、以下の基準を満たすこと。

- 2.1.1 当該競技が FIS 国際スキーカレンダーに発表されていること。
- 2.1.2 国際競技規則（ICR）が厳格に守られていること。
- 2.1.4 少なくとも 5 人の競技者の公式成績が報告されること。

## 2・2 日程変更、開催地変更及び中止

競技の開催地・日程の変更や中止、並びに競技プログラムの重大な変更は、直ちに以下に報告しなければならない。

FIS Nordic Office ,CH-3653 Oberhofen/Thunersee,  
Phone:+41(33)244 61 61-Fax+41(33)244 61 71  
e-mail : [richter@fis.ch](mailto:richter@fis.ch)

また、自国のスキー連盟及び当該競技会担当のTDに対しても、同様の報告をおこなうものとする。もし、競技が未公認の代用コース行われる場合、TDはICR313条と一致したコースの規範か否かを確認しなければならない。

## 2・3 ジュニア競技者

シニア競技者はFISカレンダーに載っているジュニア競技大会への参加は許可されない。年齢カテゴリを混合することは可能である。

## 3 . 競技者

### 3・1 FISコードナンバー

FISコードを持っている女男の競技者のみがFIS競技会への参加が許可される。コードナンバーは各ナショナルスキー連盟にオーダーできる。

### 3・2 登録

競技者はFIS website のFOUシステムのより登録すること。ログインパスワードはそれぞれの管理者により受け取れる。<http://www.fis-ski.com/>  
このシステムにより競技者の更新、新規登録ができる。FISコードは自動的に割り当てられる。

FISポイントリストに載らない全ての競技者は“O”から“E”へ変更する。ステータス“O”の競技者は来たるシーズンに対し登録したとみなされる。

記号：

O = 活動中 (FISポイントリストに載っている) FISイベントに参加しなくてもO状態は維持される。もし、EにすべきであればFISへ連絡しなければならない。

E = 活動していない (FISポイントリストに載っていない) E状態の競技者はFISイベントに参加すれば、FISによりすぐ自動的にO状態に変わる。  
国連盟は該当の競技者が適切な保険契約をしており選手宣誓書に署名していることを確認する責任がある。

D = 引退

ICR 2 0 3 . 2 条に従って選手宣誓書に署名した競技者のみが自国の連盟によ

り登録できる。国連盟の責任者、すなわち FIS へ登録書を送った人は上で述べている必要項目が全て満たされていることを、直接自分で確認しなければならない。

### 3・3 年齢カテゴリー

ポイント計算は、シニアの年齢カテゴリーを対象として男女別に行われる。ジュニアでも距離とスタート時間が同じならシニアのカテゴリー内にリストされる。このような場合は、ジュニアとシニア両方を含みリザルトリストを作成しなければならない。

### 3・4 条件

以下の条件を満たすものだけが、FIS ポイントの対象となる。

- ICR 2 0 4 条に基づく資格を保有する者。
- 自国のスキー連盟によって登録された者。
- その FIS コード、姓名及び生年月日が遺漏なくリストに記載され明確に読み取れるもの。
- 自国のスキー連盟が、前シーズンの支払いをすべて済ませていること。
- リザルトリストに FIS コードが記載されている者。

### 3・5 競技中断後の再登録（病気、学業、出産等の理由による）

競技者が怪我をしてシングルペナルティーの適用を希望する時、国スキー連盟はシングルペナルティーの承認を得るために、公式申請書と医師の診断書を早急に FIS へ提出しなければならない。承認されれば、競技を中断した時点において有効であった FIS ポイントにペナルティーが足され FIS ポイントは修正される。

シングル・ペナルティーポイントは中断した時点において有効であった FIS ポイントの 2 2 % である。最小は 4 ポイント、最大で 2 6 ポイントである。

### 3・6 ドーピング違反

ドーピング違反と認定された競技者は、FIS ポイントを失う。再び、WC に出場するには競技者資格を得なければならない。

## 4. 評価期間

4.1 リザルトの有効期間は 1 年間である。

4.2 前回から 1 年以上競技会に出場しなかった競技者は FIS ポイントを失う。

## 5. 計算プロセス

### 5.1 レース・ポイント

- 5.1.1 レース・ポイントはコンピューターにより計算される（1a）。  
レース・ポイントは小数点第 3 位を四捨五入する。

(例：23.654=23.65。23.846=23.85)

## 5.2 FIS ポイント

### 5.2.1 デスタンス (スプリントより長い距離)

競技者のポイントは、過去12ヶ月の期間内でのベスト5の記録の平均とする。

### 5.2.2 スプリント

競技者のポイントは、過去12ヶ月の期間内でのベスト5の記録の平均とする。

### 5.2.3 5つの記録がない場合

デスタンス、スプリントとも5つの記録がない場合は、次のように計算される。

4つの記録しかない： $4 \times 1.1 = \text{FIS ポイント}$
3つの記録しかない： $3 \times 1.2 = \text{FIS ポイント}$
2つの記録しかない： $2 \times 1.3 = \text{FIS ポイント}$
1つの記録しかない： $1 \times 1.4 = \text{FIS ポイント}$

## 5.3 ペナルティーの計算

### 5.3.1 以下の点を考慮しレース・ペナルティーが計算される (図表1a/1b)

#### 5.3.1.1 そのレースの上位5名の競技者の成績

#### 5.3.1.2 上位5名の競技者 (5.3.1.1) の FIS ポイントが対象となる。上位5名の競技者の FIS ポイントの上位3名ポイントを足して3.75で割った数をレース・ペナルティー (計算ペナルティー) とする。小数点第3位を四捨五入する (例：13.654=13.65。21.849=21.85)

#### 5.3.1.3 上位5名の内 FIS ポイントを保持していない競技者、同様にマックス・バリューを超えている競技者には次のポイントを与える：

- 176 インターバル・スタート競技
- 264 スプリント、休憩ありのパシュート
- 308 マス・スタート競技と休憩なしパシュート

#### 5.3.1.4 2名以上が5位とか3名以上が4位とかの場合には、その中で最もよい FIS ポイントを保有する競技者がポイント計算の対象となる。

### 5.3.2 5.3.1条により計算された計算ペナルティーがミニマムペナルティー (5.4.1条参照) より高い (数が多い) 場合は、計算ペナルティーがそのレースのレースペナルティーポイントとなる。

### 5.3.3 計算ペナルティーがミニマムペナルティーより数が小さい場合は、ミニマムペナルティーがそのレースのレースペナルティーポイントとなる。

### 5.3.4 JWSC (ジュニア世界選手権) については、35ポイントをペナルティーポイントとする。

### 5.3.5 U23ワールドチャンピオンシップについては、25ポイントをペナルティー

ポイントする。

## 5.4 ミニマムペナルティー

5.4.1 以下の競技についてはミニマムペナルティーを設定する。

	女 子	男 子
OWG (オリンピック)	0	0
WSC (世界選手権)	0	0
WC (ワールドカップ)	0	0
COC (コチカッポ) + FIS 競技	1 5	1 5
U 2 3 競技	2 5	2 5
JWSC (ジュニア世界選手権)	3 5	3 5

5.4.2 ミニマムペナルティーは各 FIS ポイントリスト毎に発表される。

## 6. FIS ポイントリスト

6.1 FIS ポイントリストは電子装置上でのみ利用できダウンロードも無料である (<ftp://ftp.fissski.ch>)。

CCFPxxx.zip は FIS ポイントリストプログラムに有効である。

TIP : FIS リストプログラム (Fislistsetup.exe) をインストールする。

<ftp://ftp.fissski.ch/Software/Programs/Fislist/> でも可能である。

6.2 各リストの有効期間

印刷締め切りと有効期限は公表される。ウェブサイトでも同様である。

## 7. 年会費 (更新)

7.1 費用

7.1.1 競技者一人当たりの年間登録料は 30 スイスフランである。

7.1.2 1月1日以降の登録費は 100 スイスフランである。

7.2 登録費は各国スキー連盟の FIS 口座から引き落としになる。

7.3 返金

競技者がシーズン中リタイアしたり、国連盟の登録に間違いがあっても登録費の払い戻はしない。

## 8. 組織委員会と技術代表への指示

8.1 競技コースの技術的基準

競技コースが技術水準の規定 (ICR313 条) に適応しているか否か、以下の点をチェックすること。

- 競技距離
- 標高差 (HD)
- 極限登高 (MC)
- 合計登高 (TC)
- 最高地点標高

## 8.2 FIS コードナンバー

FIS コードナンバーがリザルトに記載されているか否か、チェックすること。  
図表 1 d 参照。

FIS コードのない競技者はスタートすることを許可されない。さもなければ、そのレースはカウントされない。

## 8.3 FIS ポイントアデッショナル (ペナルティーポイント) 報告書

最新 FIS ポイントリストに基づきペナルティーポイントを計算し、FIS ポイントアデッショナル (ペナルティーポイント) 報告書を作成すること。

図表 1 b 参照。

## 8.4 データ送信

リザルトは電子的に送信しなければならず、FIS フォーマット形式で行う (E-Mail:alpineresults@fisski.ch) - これはクロスカントリーでも利用出来る - (TD レポートは Fax または E-mail:richter@fisski.ch で行う)

TD はリザルトが正しく送信されるよう監督し、通信記録を作成しなければならない。

TD レポートを Fax か E メールで FIS ポイントリスト締切り日前、10 日以内に FIS へ送信下さい (報告はオンラインでも有効)。

評価期間の終りまでに FIS フォーマットで送られないリザルトは、次期の FIS リストに記載される保証はない。リザルト、TD レポートなどの書類の原本すべては、電子的に送信しても競技会後送らなければならない。

E-Mail:AlpineResults@fisski.ch

Fax No. +41(33)244 61 71 (TD Reports)

Direct Tel No FIS Points(G.Richter):+41(33)244 61 05

E-mail:[richter@fisski.ch](mailto:richter@fisski.ch)

Software for FIS format:<ftp://ftp.fisski.ch>

### 8.4.1 リザルトを送信するためのファイル名の作成

- OC の国名 (FIS ブリテンに記載されている 3 文字で)
- コーデックス (FIS カレンダーによる)

## 8.5 報告

オフィシャルリザルトリストと FIS ポイントアデッショナルレポート (ペナルティーポイント) のコピー 1 部を競技終了後 3 日以内に郵送にて FIS へ送らなければならない。署名されたそれらの書類の PDF ファイルは郵送の代わりに受け取られる。

## 8.6 技術代表の署名

オフィシャルリザルトと FIS ポイントアデッショナルレポート (ペナルティー

ポイント)には、技術代表の正式な署名がなされていなければならない。

#### 8.7 無効評価

競技会を FIS ポイントの評価対象外とする正当な理由がある場合は、その理由を TD レポートに記載しなければならない。



## THE CROSS-COUNTRY FORMULA

1 a

( C C レース・ポイント計算 )

$$P = \frac{F \times T_x}{T_o} - F \quad \text{または} \quad \left( \frac{T_x}{T_o} - 1 \right) F$$

P = レース・ポイント

T<sub>o</sub> = 優勝者の所要タイム ( 秒 )

T<sub>x</sub> = 該当者のタイム ( 秒 )

F 値

F = 800                      インターバル・スタートの競技

F = 1200                     スプリント競技。休憩を取るパシュート競技

F = 1400                     マスター。休憩を取らないパシュート競技

計算例 ( 2×5Km 休憩を取らないパシュート競技 )

1, Smigun, EST                      26.38.4 (T<sub>o</sub>) (1598.4 秒)

2, Sachenbacher, GER              26.39.0      ( 1599.0 秒 )

3, Savialova, RUS                    26.39.0      ( 1599.0 秒 )

2 位 Sachenbacher ( T<sub>x</sub> ) のレース・ポイント ( P )

$$P = \frac{1400 \times 1599}{1598.4} - 1400 = 0.53 \quad ( \text{小数点第 3 位四捨五入} )$$

3 位 Savialova ( T<sub>x</sub> ) のレース・ポイント ( P )

$$P = \left( \frac{1599}{1598.4} - 1 \right) 1400 = 0.53 \quad ( \text{小数点第 3 位四捨五入} )$$

プログラム機能のない計算機での計算

- (1) 

ON
----
- (2) 

F ⇒	800 インターバルスタート(デスタンス) 1200 スプリント、休憩有りパシュート 1400 マススタート、休憩なしパシュート
-----	--
- (4) 

÷
---
- (4) 

T0 ⇒	1位の所要タイム (秒)
------	-----------------
- (4a) (=) 機種によっては必要
- (5) 

M+
----

 ⇒ F ÷ T0をメモリー入力
- 
- ( ) 

MR
----
- ( ) 

×
---
- ( ) Tx ⇒ x位の選手の所要タイム(秒)
- ( ) 

-
---
- ( ) F
- ( ) 

=
---

 x位の選手のレースポイント(小数点第3位を四捨五入)
- 
- ( ) 

MR
----
- ( ) 

×
---
- ( ) Tx ⇒ x位の選手の所要タイム(秒)
- ( ) 

-
---
- ( ) F
- ( ) 

=
---

 x位の選手のレースポイント(小数点第3位を四捨五入)

以下繰り返す。